


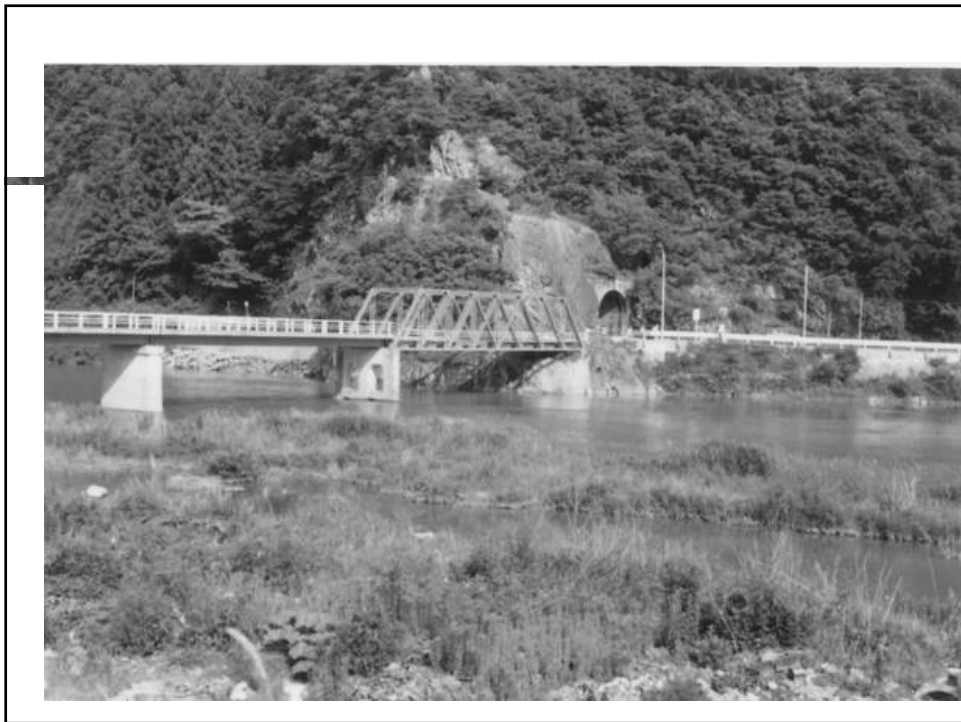
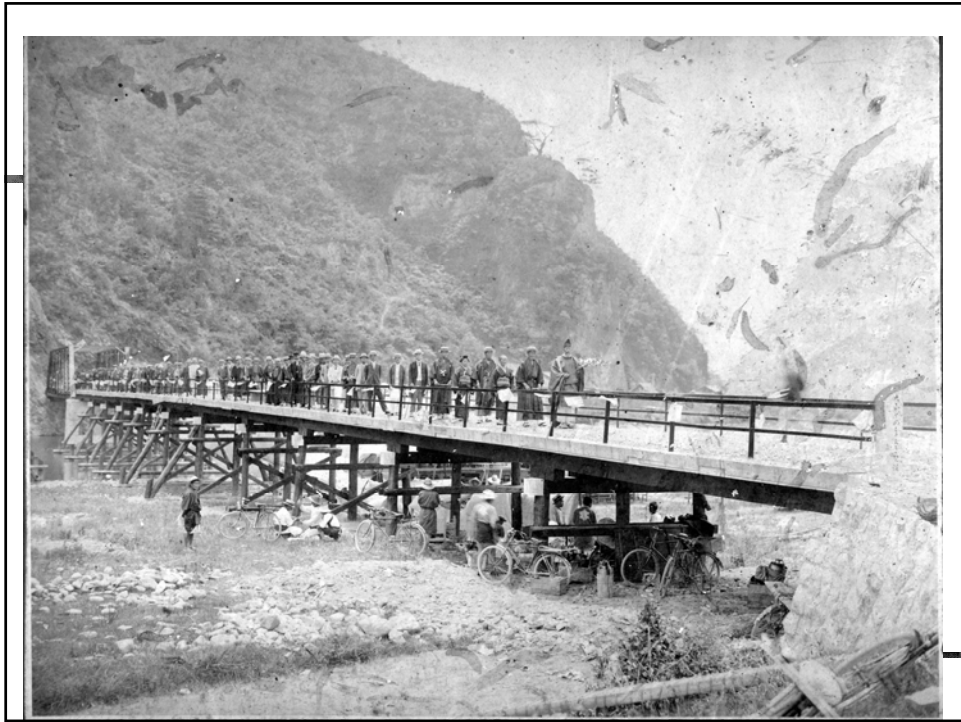
千種川圏域 清流づくり委員会

川がき  復活!!
千種川圏域清流づくり
多水
千種川
川に遊び 川に学ぶ

千種川古地図

法雲寺 蔵







昭和40年代の川ガキ

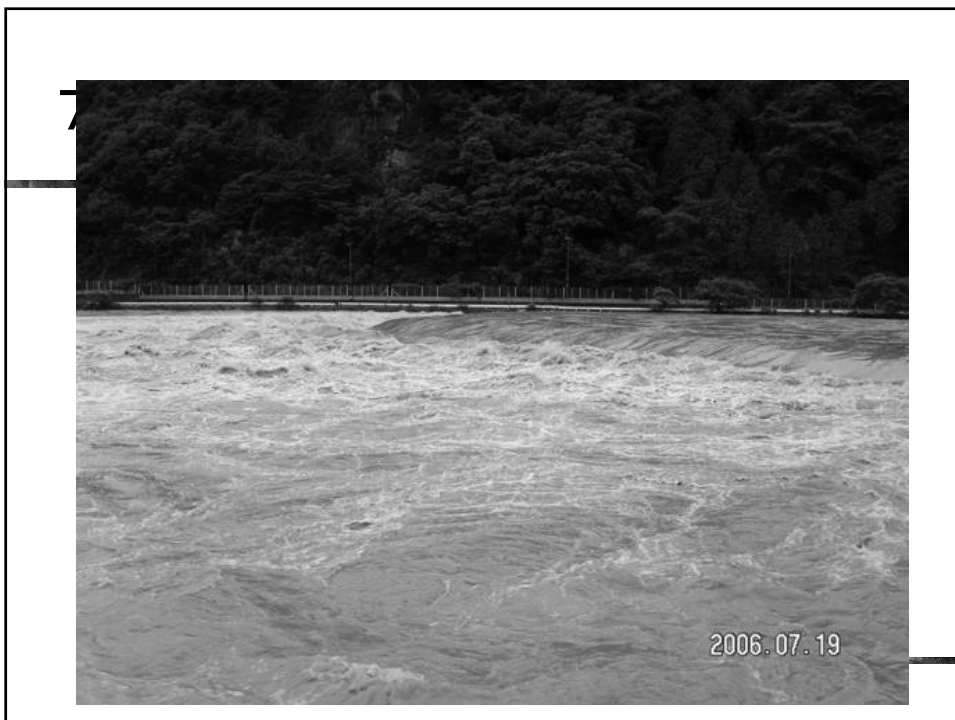


春のイダ(ウグイ)釣り



春イベント シジミ掘り

■ 川と海の幸



夏のイベント(鞍居川) 8月20日



夏「採って食らう！」



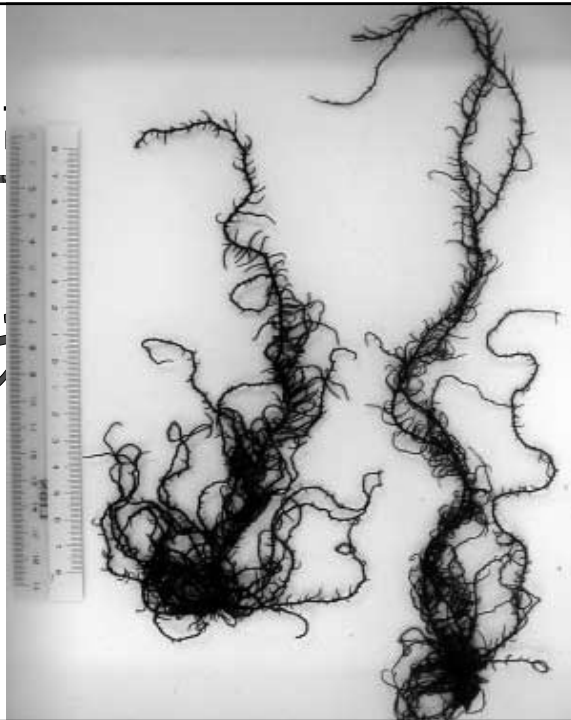
夏(8月6日) 一斉最高水温調査

- 全流域、約100カ所で水温を測り、川の健康度を測います。



チスジノリ保

安室川の



川を耕す・磨く(チスジノリ再生実験)



オオサンショウウオ調査

■ 佐用のオ

交流



兵庫の川サミット

- 毎年、県下の川の情報交換が行われています
- 昨年から、「県下の川探訪」を行っており、今年も千種川を二回に分けて実施。

あいさつをする酒井実行委員長



親しみのある歌謡と美しい歌声



会場の指導と指揮をされた榎岡文さん



兵庫の川サミット連絡会・通信

かわせみ

Vol. 17

発行日 平成17年12月15日

発行 兵庫の川サミット かわせみ編集部

第12回 兵庫の川サミット 報告

17年10月22日(土) 13時～16時
篠山市市民センター 多目的ホールにて

今は洪水や水害のために街から離れたところへ付け替えられていますが、川は街の中心にあるべきもの、街のメインストリートになるべきものと思っています。そのモトになるのが阪神間にある芦屋川、夙川、武庫川などです。

芦屋生まれの僕は年1回三宮から梅田まで歩きます。これは僕の趣味であるクーラーの夜歩くと、力ロリー訓練、歩くことで残えてくる多くのものを発見しています。お好み焼がコミュニティを作り、ニュータウンではその役割をクーラーさんが担っています。

現在、国土交通省の河川環境ガイドライン作業部会に参画していますが、自然河川と都市河川の定義がない。夙川公園は、昭和12年に愛宕台を削りて整備された松を抜き、緑の帯と川がうまく調和しています。夙川は扇状地であったため高層ビルが建たず、自然をうまく取り込みながらデザインした都市で、自然を暮らしに活かす住環境作り上げた街でもあります。芦屋の山手、六甲を流れるとんぼ川は扇状地の境界でなく宅地の真ん中を流れています。

このように山と街と海をつなぐデザインを進めたいと思っています。またその地味を作る石道に關心があり石積み技術の伝承や石垣バウクの創設を進めています。川の石積みは田んぼの石道と違って、水流・水圧を受ける難しい高度な技術です。」

行楽・イベントシーズンにもかかわらず250人を超える参加があり、開演後にイスを追加するほど。先ずは実行委員長で連絡会代表の酒井亮平さんが「昨年の10月22日は秋の空気に合わせてより素晴らしい風景があった日です。このサミットは、當の頃から計画を。今日の開催に当たっては、皆さんにとってよりあるべきように開催しております」とあいさつ。

オープニングを飾ったのは、榎岡文さんと篠山市立城南小学校4年生そして武庫川社会音楽研究会の皆さんによる、会場 川のうた 組曲 武庫川。この時は武庫川流域の4つの小学校の子どもたちの詩を基の川川舞がかなり盛りだくさんで、目を奪って下さったものです。今回のために城南小学校の皆さんに急いで練習をしていただいたようですが、美しい歌声はさすがらしいと感嘆しました。また子どもたちもこの曲を歌うことで、川を育つめ、自分たちの川を育てるきっかけになったのではないのでしょうか。

続く、基調講演は徳島大学工学部助手の三宅正弘先生に「川づくりに新しい視点」と題してお話していただきました。要点は次のとおりです。



「川づくりに新しい視点」

「川づくりに新しい視点」

「川づくりに新しい視点」

平成19年度 活動計画

- 春イベント・総会 **4月22日 坂越**
- 出る杭大会 **29日**
「きれいになるで賞」を受賞
- オオサンショウウオフォーラム **5月26・27日**
- 武庫フォーラム **6月17日**
- 一斉水温調査 **8月5日(千種川の日)**
- 夏イベント **18日 ひまわり館裏**
- 兵庫の川サミット連絡会 川探訪 **17・18日**
- 秋イベント **11月3日 唐船(アサリを守れ)**
- 冬イベント **2月中旬 たき火あそび**

参加中の各種委員会・会議

- 安室川自然再生検討会
および技術部会
- 「千種川の日」実行委員会
- 千種川自然環境作り懇話会
- 兵庫の川サミット連絡会

ほか

今後の課題

委員会の活動・運営

- **人と人との連絡・連携の仕方**
メンバーが広範囲で、事務局機能が生命線
- **行政とのパイプ**
行政担当者が数年で入れ替わる
- **後継者の育成**
若い世代の川離れ、危機感のなさ
- **活動資金の確保**
スポンサーや助成金開拓

○事務局機能と、人と人とのふれあい

ホームページ・メールリングリスト

- 西播磨県民局川づくりHP
http://web.pref.hyogo.jp/wh04/wh04_1_000000014.html
- 千種川の番人HP
<http://homepage3.nifty.com/ytadashi/>
- 千種川圏域ML
<http://groups.yahoo.co.jp/group/chikusagawa-keniki/>
- 横山
zabiel.yokoyama@nifty.com

川に遊び 川に学ぶ

川がき復活!!
千種川圏域清流づくり

水
千種川

有り難うございました